

- 8月の米ISM製造業景気指数は市場予想に反して低下し、景気の良し悪しの分かれ目とされる50を3年ぶりに下回った。中国では、新規輸出受注指数や工業利益といった指標にやや持ち直しの兆しも。
- 米中ともに株式市場は過去およそ1カ月の動きの範囲内にとどまっている。こうしたことなどを考えると、米中の株式市場は貿易摩擦による悪影響をある程度織り込んでいる可能性も考えられる。

米製造業景気指数は3年7か月ぶりの低水準

米国では、総じて製造業指標の悪化傾向が続いています。

3日に発表された8月の米供給管理協会（ISM）製造業景気指数は49.1と、前月の51.2から51.3へ小幅に上昇すると市場予想（ブルームバーグ集計。以下、同じ。）に反して低下し、2016年1月以来、3年7か月ぶりの低水準となりました。同指数が景気の良し悪しの分かれ目とされる50を下回るのは、2016年8月以来、3年ぶりのことです。

内訳をみると、在庫指数を除いた4つの構成指数が低下し、生産指数は2015年12月以来の、新規受注指数は2012年6月以来の最低を記録しました。米中貿易摩擦の激化が総じて米国製造業にマイナスの影響を与えるかたちとなりました。

ただし、先に発表された8月のニューヨークおよびフィラデルフィアの各連銀製造業景気指数は、ともに市場予想を上回り、足もとでやや持ち直しの兆しがみられるなど、景況感は地域によってばらつきがある模様です。

中国の指標にはやや持ち直しの兆しも

中国では、8月31日に発表された8月の製造業購買担当者景気指数（PMI）は49.5と、前月の49.7から低下し、市場予想の49.6を小幅に下回りました。

ただし、同新規輸出受注指数は昨年6月以降、50を下回る水準が続いているものの、足もとでは4か月ぶりの水準を回復しました。このほか、8月27日に発表された7月の工業利益が前年同月比+2.6%と、前月の同-3.1%からプラスに転じるなど、中国の指標の一部にはやや持ち直しの兆しもみられます。

米中ともに株式市場は過去1カ月の範囲の動き

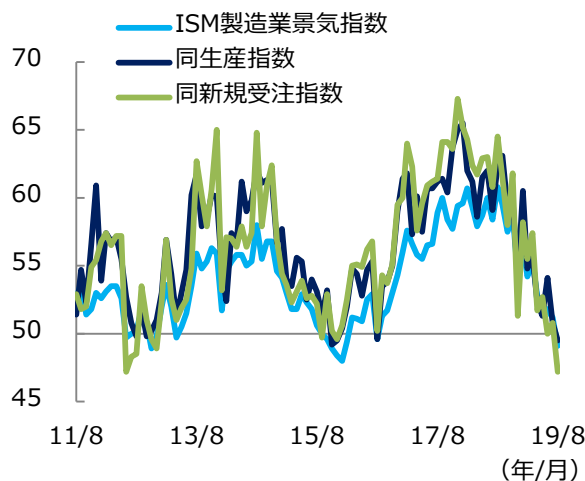
9月3日の米国市場では、ISM製造業景気指数の発表を受けて10年国債利回りが1.45%台と、2016年7月以来の水準へ低下しました。一方、株式市場では米国の主要株価指数が軒並み下落したものの、過去およそ1カ月の動きの範囲内にとどまったほか、中国の株式市場は9月に入り2日続伸となりました。

こうしたことなどを考えると、米中の株式市場は貿易摩擦による悪影響をある程度織り込んでいる可能性も考えられます。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

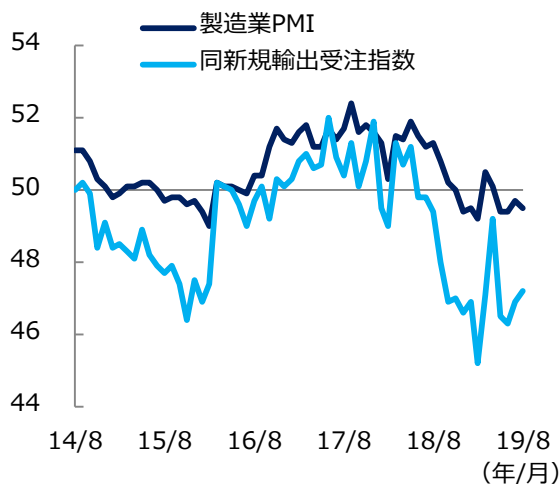
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

ISM製造業景気指数の推移



※期間：2011年8月～2019年8月（月次）

中国 製造業PMIの推移



※期間：2014年8月～2019年8月（月次）

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78% * (税込)

* 消費税率が10%になった場合は、3.85%となります。

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.052% * (税込)

* 消費税率が10%になった場合は、年率2.09%となります。

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

● ISM製造業景気指数は全米供給管理協会が発表する指数です。